



506号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



第8回 検数労連16春闘交渉 10:00~12:00
全日検：職務経験加算10年未満250円、15年未満750円。
日検協会：企業体力を超えた回答でこれ以上は修正できない。
交渉決裂！組合は全日検に対しては職員Bの港湾相場、日検協会に対しては昨年比プラス回答の修正回答を求める。

【全日検再修正回答】(抜粋)

- 【本給】
- (1) 定期昇給 1,200円
 - (2) 一律 56才未満者 本給一律600円
56才以上者 本給一律200円
 - (3) 職務経験加算
 - 10年未満 250円
 - 15年未満 750円
 - 15年以上 1,250円
 但し、休職期間は、勤続年数(1ヶ月未満は切捨)から控除とする。
 - (4) その他身分については、支部で決定する。
 - (5) 「定期昇給の減額又は停止」及び「休職・復職等の取扱」は従来どおりとする。

以上

第8回 検数労連16春闘交渉経過

4月20日(水)に開催された検数労連16春闘交渉で、組合は両協会に対し、回答の再修正を求め、全日検から左記の通り再修正回答がされた。また、第6回交渉時に主張した日港協と全国港湾の間で交わされた仮協定の内容(検数に係る項目他)についても両協会より回答がされた。

【全日検】

これまで説明してきた通り、当社を取り巻く環境は事業収入の減などに伴い16春闘での港湾相場(3,000円)の原資を確保するのにも厳しい状況である。しかしながら、これまで行われてきた労使交渉の中で、労組からの

修正に対する強い要望を受け、再修正回答を用意した。現回答は企業体力を超えた回答であり最終回答として提示したい。なお、時間外分母に関しては、先議課題がある中で今春闘では改定できない。

【その他の回答】

適正料金收受については、中央港湾回交での経過を受け、各支部・各現場で適正料金の收受を求めて動いている最中である。65才定年制について、中央港湾回交の経過から対応を図る必要を感じている。真摯に対応していきたい。SOLAS条約に関する

重量証明について、ビジネスチャンスと捉えている。今後、更に研究を重ねて職域化をしていきたい。長時間労働対策については、時間外対策は各支部時短員会対策を行っている。しかしながら、本部としても従業員健康管理をきめ、指導していきたい。

【日検協会】

前回の交渉では、労組主張を受け、修正回答を提示した。その後、労組からは『昨年比で見ると賞金の上り幅がマイナスになっている』との主張を受け、今日の交渉に向け回答の再修正を検討したが、現回答が協会の体力的にもいっぺいの回答であり、これ以上の修正回答は困難であることを理解願いたい。

【その他の回答】

適正料金收受については、積極的課題と捉えており、全国的に取り進む。定年延長について、現行の制度があるものの、今後は労使で積極的に協議していきたい。SOLAS条約に関する重量証明について、中央港湾回交では4検での対応が望ましいとしている。この事をビジネスチャンスと捉え、積極的に動いていきたい。長時間労働対策については、各支部・各現場での担当業務による時間外の増が考えられることから、支部内でのワークショップ等での対応を取り組むよう指導する。

【組合主張】

組合は両協会からの回答を受けた後、対角線交渉で更に追求を重ね、その後、休憩を挟み現回答を分析。両協会に対し、次の通り主張を行い次回交渉までに再度修正回答を提示するよう求めた。

【両協会に対し】

①中央港湾回交での合意事項については真摯に受け止め、本日の回答に基づき積極的に取り組むこと。

【全日検に対し】

①職務経験加算への修正については、前進回答を受け止め一定評価できる。
②職員Bの賞金引上げについては、港湾相場への到達を求める。

【日検協会に対し】

①前回交渉においても主張したが、昨年比マイナス回答となっており不満である。修正を求める。

※九州地方の震災状況について

本日の交渉終了後、4月14日(木)熊本県・大分県を中心とした地震の災害状況について、両協会に被災状況等を聞いたところ、日検協会・全日検については震災で直接被災した従業員ならびに家屋・事務所等の被害はないとのことでした。

次回交渉：第9回 検数労連16春交渉については、未定です。